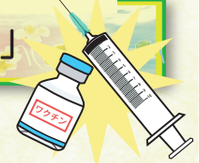
林 さえこの柏市議会 Report NO.6

平成28年第4回定例会

定例会が11月25日（金）から12月14日（水）まで行われました。
議会の様子は、柏市公式ホームページから録画で見ることができます。

ワクチンには慎重に…「感染症対策」



今年もインフルエンザ等の感染症が心配な時期になりました。

インフルエンザと言うと、予防接種への助成を求める声も聞かれますが、全てのワクチンは劇薬で、確率は低くとも重篤な副反応が製薬会社と厚労省から報告されています。安易に勧めるべきではありません。昨年も、インフルエンザワクチンによる肝腎機能障害や末梢神経障害が認定され、医療費が支給されています。

インフルエンザ脳症の危険性を訴えてワクチン接種を勧める医師もいますが、インフルエンザ脳症は解熱剤などの投与が原因の「ライ症候群」であると指摘する医師もいますので、慎重に考えるべきです。

インフルエンザは前年度の流行から今年度流行するウイルスの型を予測してワクチンが作られていますが、特に大流行を起こしやすいA型は種類も多く変異を起こしやすいものであり、ワクチンとウイルスの型の差異が大きければ、発症を抑える効果はありません。厚労省も予防効果は高く見て50％程度としています。重症化を抑える効果についても明確に実証した研究はありません。

効果があいまい、かつ危険性があって避ける人も多いワクチンではなく、全ての子どもに公平で効果的な予防対策を行うべきです。

乾燥対策が重要

感染症は薬剤に頼らない対策からまず行うべきです。特にインフルエンザ等の集団予防は湿度コントロールがカギと考え、子ども施設の乾燥対策を進めるよう訴えました。空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し感染症にかかりやすくなる上、ウイルスの空気中の存在率は、絶対湿度と逆相関の関係にあると言われています。

柏市では、今後小中学校へエアコンが導入される予定ですが、冬季の暖房にも使用する方向で検討されていて、ますます乾燥が心配です。保育園では加湿器が導入されているところが多く、学校でも各校の予算で加湿器を買っているところがあります。子どもたちが長い時間を過ごす場所の乾燥対策を進めるよう、今後も求めていきます。

また、「あいうべ体操」を日課にし、口呼吸を鼻呼吸に矯正することで免疫力を高める活動をしている学校が報道され注目されています。柏市でも積極的に取り入れてほしいところです。家庭でも手軽にできてオススメです。風邪をひきやすい方は、ご家族でやってみてはいかがでしょうか？

《発行》
林 さえこ（柏市議会議員）
fb.com/saeko.hayashi.35
twitter.com/saeko_hayashi
《問い合わせ》
林 さえこ事務所
（市民ネットワーク・かしわ）
〈平日9:30〜16:30〉
〒277-0005柏市柏5-8-15
TEL：04-7166-6648
FAX：04-7166-6716
MAIL:smnnet@bz03.plala.or.jp

12/8（木）林 さえこ一般質問項目

1. 子どもの育ちと食について
   ①食育と食の安全
   ②学校給食と保育園給食
   ③こどもルーム
2. 子ども支援について
   ①子どもの未来応援会議
   ②スクールソーシャルワーカーの拡充
3. 保健福祉行政について
   ①感染症対策
4. 教育行政について
   ①発達障害への理解と支援
   ②放課後こども教室
   ③人権教育
5. 環境について
   ①配食油リサイクル

「一般質問」とは、市の事務の執行状況や計画の考え方などの報告や説明を、市長や担当部長などに求め、市が市民のための適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

あいうべ体操

一日最低30 セット（「あいうべ」が1セット）

柏市の財政状況…「H27年度決算」

市民税の収入は年々厳しく‥(´;ω;`)

H27年度の柏市の個人市民税は、前年度から0.6％、1億6000万円増えています。しかし、ふるさと納税や住宅ローンによって市民税の控除額が増えています。そのため柏市は前年度より1億1,200万円少ない予算をH28年度に組んでいます。

また法人市民税は税率が引き下げられた上、法人市民税の一部を国税とする「地方法人税」が創設され、H27年度は前年度より1億円少なくなっています。H28年度はさらに影響が大きいと予想され、前年度より4億5,600万円少ない予算になっています。

このように、市民税の収入は年々厳しくなっています。

優先的に使うべき分野は？

ところが、H27年度の投資的な経費は前年度より30.8％も増えていて、大規模な建設事業では柏駅東口D街区再開発事業や北部開発に伴う中学校新設に支出しています。D街区再開発事業は27年度に終了しましたが、柏市の負担総額が約29億円と、市の財政の大きな負担となっています。

また、柏市はH27年度、財政調整基金（自治体が財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金。）を取り崩して都市整備基金（都市施設建設や用地購入に充てるための貯金。）に10億円を積み、今後の再開発事業や北部整備の財源に充てようとしています。柏駅前西口北地区の再開発事業も計画されていますが、公共性が低く、大手ゼネコンが儲けるための高層マンションの建設という再開発事業は止めるべきです。少子高齢化が進む中で若い世代に住み続けてもらうためには、保育園や学童保育の待機児解消や、児童館や放課後子ども教室の拡充など、子どもの居場所づくりへの投資が必要です。限りある財源は社会保障や子育て支援の充実などに使用するべきです。

柏市の借金

柏市の債務残高は減っていますが、未だにH27年度の歳入1313億円よりも多い1643億円もあります。

特に大きな問題は臨時財政対策債（国が地方交付税として自治体に交付するべき財源が不足した場合に、地方交付税の交付額を減らして、その穴埋めとして自治体が発行する地方債。略称は臨在債。）が増えていることです。市長は以前「臨財債は赤字を補うための借金で、未来の世代に負担が掛かる。」とし、臨財債の発行を控えてきましたが、最近は「市民サービスを維持するためには、臨財債の活用が必要だ。」と言って、H27年度は35億円を国から借りています。市長は、当選直後の認識に戻り、臨財債の発行を控え、早く返す努力をするべきです。

市長の政治姿勢

今後、柏市は老朽化した公共施設の大規模修理や建て替えを行わなければならず、ますます財政は厳しくなると予想されます。その状況の中、200億円以上ともいわれる多額の市税が投入される西口北地区再開発事業を、資金計画等の情報公開もせずに進めようとする、市長の政治姿勢には大きな問題があります。

これらの理由からH27年度柏市歳入歳出決算には反対票を投じました。

くらしと政治のおはなし会
～現役ママ議員としゃべろう～

くらしの困りごとから市政の大きな問題まで、わかる範囲でお答えします。
皆さんの声をお聞かせください♪

⑤2月2日（木） 10:00〜12:00
林 さえこ事務所にて
（市民ネットワーク・かしわ）

⑥2月4日（土） 13:00〜15:00
パレット柏 ミーティングルームEにて

参加費：無料
申し込み：事務所にご連絡ください。
（飛び入り参加も大歓迎♪）

予定が合えば出張おはなし会も開催いたします。

子どもの人権を守って…「人権教育」

子どもの権利条約

日本も1994年に批准した「子どもの権利条約」は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。その柱は「生きる権利」「守られる権利」「育つ権利」、そして日本でなおざりにされがちな『参加・意思表明の権利』の 4 つです。子どもに関するすべての活動で、子どもの「最善の利益」が第一に考慮されなければなりません。子どもは、自分に影響を及ぼすすべての事柄について自由に自己の意見を表明し、それを年齢および成熟度に応じて正当に尊重される権利を持っています。

しかし、日本の子どもは実際、家庭では親の、教育現場では行政や教職員が作ったルールの中で動くことが求められることが多く、子ども自身の意見が尊重されているとは言えない現状があります。家庭でも、子どもの望まない進路や習い事をつい強制したりしていないでしょうか？

子どもたちを縛る校則の現状

子どもの意見が尊重されているか疑わしいルールと言えば、まず学校の校則が挙げられます。柏市内のいくつかの公立中学校の校則（「生活の決まり」など）を調べてみました。ある学校には「モヒカン禁止」や、「眉を剃らない」など笑ってしまうような校則や、「三つ編みはいいけど編み込みはダメ」など不可解な校則があります。他にも、「ジャージのチャックは名札くらいの位置まで閉める（閉めすぎない･開けすぎない）」や、「日焼け止めを家で塗るのはいいが、学校で塗り直すのは禁止」など、くだらないと言って差し支えないレベルの内容が見受けられました。しかし、実際チャックが開きすぎていただけで授業を中断して10分以上説教したり、整髪料を付けた子どもの髪の毛を掴んで怒鳴ったりした教職員もいたので、子どもたちにとっては軽視できない内容です。

義務教育の中学校で、それも子どもたちが学校を選ぶことができない公立中学校で、細かすぎるルールの順守を求める現状は、「子どもの意見が尊重されている」と言えるのでしょうか？

子どもは大人の言動を良く見ています。大人が子どもを上から押さえつけるような指導をしていると、子どもも暴力や脅しで人を従わせようとします。窮屈な教育はいじめ問題にも影響すると考えます。

「校則」と「制服」のない公立中学校

一方、全国では私服通学を基本としている公立中学校が少数ながらあります。千葉県内で唯一私服通学を採用している印西市立西の原中学校の学校経営方針には「生徒の自主性を重視し、校則と制服はない」と書かれています。他の私服中学校でもそうですが、自由と言っても特に奇抜な恰好や派手な化粧をする生徒は見当たらず、普段は気温や体調に合わせてジーパンにTシャツなど簡素で動きやすいカジュアルな恰好の生徒が多いそうです。また、式典やテストの時にはそれぞれが正装するとのこと。

細かい決まりで縛らなくても、子どもたちがきちんと学ぶことができるのであれば、なぜ学校は校則で子どもたちを縛ろうとするのか、そのような公教育のあり方のままで良いのか、疑問に感じます。

基本的人権を守ろう

そもそも、自らが望む装いに身を包むのは人間の基本的人権の 1 つであり、特に公教育の現場で、ルールが人権侵害に繋がることはあってはなりません。

1 クラスに 1 人以上はいるとされる性的少数者にとって服装の強制はとても辛いものです。柏市は相談があれば対応するとのスタンスですが、カミングアウトしなくて済む環境づくりが配慮の基本です。また、教育の場で経済的負担を強いるのは、子どもの学ぶ権利の阻害になり得ます。柏市が、就学援助の「新入学学用品費」を「入学準備金」と改め、中学入学前の 2 月に支給するようにしたことは評価できますが、金額自体は制服購入費用に全く足りていません。暑さや寒さに対しても、個人で着るものを自由に調節して心地よく過ごす権利を子どもたちがないがしろにされているのは間違っています。

これからの公教育

人権を守るのであれば、学校に関する決まりごとは子どもたちと共に作り、子どもたちの意見を取り入れながら随時改正されるべきです。校則検討委員会の設置や生徒総会での校則の変更については、今は各学校の裁量で行われているようですが、今後は全ての学校で徹底するように求めました。

また、柏の葉では現在、中学校の新設が進められていますが、改めて地域の子どもや保護者、現場の教職員を交えて、制服を採用するかどうかから、議論を行ってほしいと訴えました。

子どもに自由と責任を

そもそも教育とは何なのでしょうか？教科を教えること、テストの点数を上げるようにすることでしょうか？または進学できるようにサポートすることでしょうか？私は、生涯を健康的に、自由に、幸せに生きていくために、自ら学び成長していけるよう導くことが教育ではないかと考えています。

人生の様々な壁を越えていくためには、自分で考え、行動することが必要になります。そのためには子どもたちの自主性を育てることが、学校教育にも求められます。

そう考えた時、ルールで縛ることが子どもたちの自主性を阻害し、「自分の考えを持たない子ども」を増やしていないでしょうか？自由と勝手は違うこと、常識や良識を持ち TPO に合わせることなど、本来子どもたちが大人になる前に少しずつ学ぶべき機会を、制服や細かいルールが奪ってしまっていないでしょうか？

ルールを自分たちで作っていく自由があり、だからこそそのルールを守る責任があるという事を、子どもたちには経験し学んでほしいと考えます。

柏市の進める食育推進って何？？…「食育と食の安全」

柏市の広報などには「柏市は食育に力を入れている」旨の記載が目につきますが、主に力を入れているのは柏産の野菜の普及で、それ以外の内容は薄く、食育の在り方に疑問を感じることが多々あります。

学校給食では、牛乳が毎日出されているのに乳酸菌飲料を同時に出している学校や、冷凍みかんや冷凍パインが月に 10 回以上出されている学校もありました。きつねうどん + もち巾着 + ココア揚げパンなど炭水化物だらけで和洋折衷の不思議な献立もあったりします。また、多くの学校で煎り大豆や小魚ピーナッツを加えて栄養バランスを補っているようですが、食事としてはちょっと不自然です。全ての栄養素のバランスを一食だけの中で整えようと計算すると、こうなってしまうのでしょう。栄養バランスも大事ですが、食べ合わせや食文化を重視し、地産地消と旬を意識した献立作りをしてほしいと考えます。

食の安全についても、衛生管理以外の分野はスルー。こどもルームのおやつは駄菓子のようなものばかりで、添加物などの規制がないのが気になります。市役所の食堂の蕎麦には鮮やかなピンクの着色料を使ったナルトが入っていましたし、給食室改修工事中の代替給食は添加物だらけのパンとおにぎりだけなので改善が必要です。以前柏市が行った市民アンケートでは、農薬や添加物、遺伝子組み換えなどにも懸念を示す市民が多くいることが分かっています。市民の関心に応える施策を行うべきです。

今回は柏市の食育の考え方と方針を問いましたが、今後も食の問題全体の改善を求めたいと思います。